

令和 8 年度英語「聞くこと」「話すこと」調査 の実施方法について

目 次

- 1 中学校英語「話すこと」「聞くこと」調査の概要について
- 2 中学校英語「話すこと」「聞くこと」調査に必要なヘッドセット等の配布について
- 3 中学校英語「聞くこと」調査等の具体的な実施モデル: 時間割例
- 4 中学校英語「話すこと」調査の具体的な実施モデル: 時間割例

令和 7 年 12 月

文部科学省総合教育政策局参事官（調査企画担当）付学力調査室

令和8年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」「聞くこと」調査の概要について

<「聞くこと」「話すこと」の実施について>

- 中学校英語「聞くこと」に係る調査時間は、生徒質問調査と合わせて50分程度とします。各学校のヘッドセット保有数・イヤホン活用数によって、グループを分けて実施します。（P4～6の実施モデルを参照）
- 中学校英語「話すこと」に係る調査時間は、20分程度とします。各学校のヘッドセット保有数や教室の確保状況によって、グループを分けて実施します。（P7の実施モデルを参照）

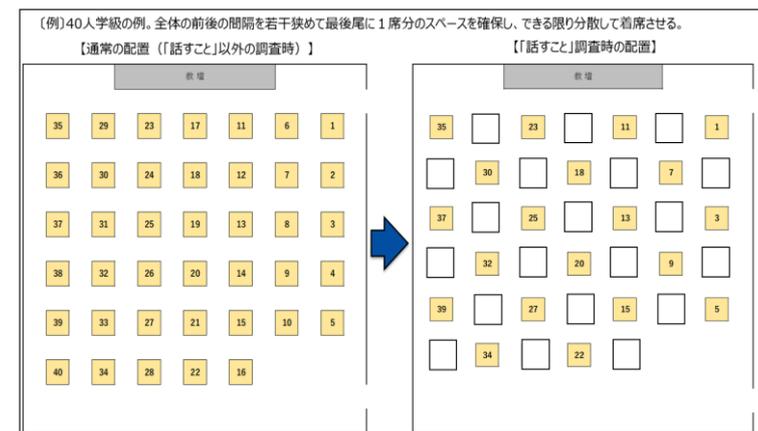
<ヘッドセット・イヤホン等の活用について>

- 中学校英語「聞くこと」調査では、文部科学省から配布するヘッドセットを使用いただくか、学校で保有するイヤホンや生徒個人が普段授業等で利用している使い慣れたイヤホンを使用いただくことも可能です。
- 中学校英語「話すこと」調査では、文部科学省から配布するヘッドセットに加えて、学校で保有するヘッドセットを使用いただくことも可能です。
（生徒個人が所有するヘッドセットの使用は基本的には想定していませんが、個人の事情等を鑑み、教育委員会・学校判断により使用していただいても問題ありません。）

<「話すこと」調査の教室配置について>

- 中学校英語「話すこと」の調査は、近くの生徒の解答が聞こえたり、端末に他の生徒の解答が録音されたりしないよう、出来る限り分散して着席させる必要があります。（【教室配置例】参照）

【話すことを実施時の教室配置例(2グループの場合)】



令和8年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」「聞くこと」調査に必要なヘッドセット等の配布について

<ヘッドセットの配布について>

- 前回の「話すこと」調査（令和5年度）で使用後、各中学校等で保管・活用されているもの（以下「令和5年度ヘッドセット」という。）の利用を前提としつつ、各学校における保有数等を調査し、不足分を配布する予定です。
- 調査当日に、全学校で各学校の保有数が、**少なくとも調査対象生徒の1/3以上となるように、配布予定**です。また、10月下旬のヘッドセット保有調査の結果を踏まえると、令和5年度ヘッドセットや学校独自のヘッドセットを**一定数保有している場合は、追加配布によって、調査対象生徒の1/2の数となるよう不足分を配布できる可能性があります。**
ただし、各学校への追加配布数は、調査対象生徒の1/3以下を想定しています。
（実際の配布数は1月のD調査の結果を踏まえて確定のうえ、事前検証の実施時期に併せて2月より順次配布します）。
- ヘッドセット発送以降に発覚したヘッドセットの不備や転入等による追加は、**使用可能なヘッドセットが調査対象生徒の1/3未満となった場合に限り、4月以降、実施前までに追加配送する**ため、コールセンターにご連絡ください。
- 「GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータ最低スペック基準」（令和6年4月17日）において、端末の最低スペック基準として、音声接続端子にマイク・ヘッドフォン端子を1つ以上有していること必要があることから、**配布予定のヘッドセットの音声接続端子については、マイク・ヘッドフォン端子（4極）を予定**しています。
（参考） [GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータ最低スペック基準\(令和6年4月17日\)](#)

<変換アダプタの配布について>

- 以下の教育委員会・学校がマイク・ヘッドフォン端子（4極）を使用できない場合に限り、変換アダプタの配布を検討します。
 - ・ **公立学校において、令和5年度以前に、マイク・ヘッドフォン端子（4極）を使用できない端末を整備している教育委員会等**
※10月のヘッドセット保有数等調査の結果を踏まえて、配布の対象となる教育委員会に対しては連絡済み。
 - ・ 私立中学校、国公立大学附属中学校
- D調査にて、マイク・ヘッドフォン端子（4極）が使用できないことを確実に回答ください。

令和8年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「聞くこと」調査等の具体的な実施モデル：時間割例

<考え方>

- 前述の通り、各学校におけるヘッドセット保有数が1/3以上になるように配布します。配布されたヘッドセットを使用いただくか、学校で保有するイヤホンや生徒個人が普段使いしている使い慣れたイヤホンを使用いただくことも可能です。
- 各学校のヘッドセット保有数・イヤホン活用数によって、以下のいずれかで実施いただくことになります。
 - 【実施モデル①】グループに分けずに実施（ヘッドセット・イヤホンを調査対象生徒全員分保有している場合）
 - 【実施モデル②】調査対象生徒を2グループに分けて実施（調査対象生徒の1/2分を保有している場合）
 - 【実施モデル③】調査対象生徒を3グループに分けて実施（調査対象生徒の1/3分を保有している場合）

<時間割例>

【実施モデル①：グループに分けずに実施（ヘッドセット・イヤホンを調査対象生徒全員分保有している場合）】

- ※ ○限目と△限目の間に昼休憩が入ることのないよう、午前又は午後にとまとめて実施いただきます。（D調査の結果を踏まえ、午前・午後の割り当てを行う予定です。）
- ※ 4月23日（調査実施日）の午前に実施する場合は、1・2限に国語・数学を実施するため、英語は3・4限目に実施いただきます。4月23日の実施を検討する場合は、ネットワーク等、時間に余裕を持って調査を実施できる環境が整っているかを確認の上、決定いただくようお願いします。

	○限目（50分）		△限目（50分）
準備等 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）	休憩 （10分）	英語「聞くこと」・生徒質問調査 （50分程度）

 : ヘッドセット使用場面   : ヘッドセットの流れ

※ ○限目と△限目を逆にすることも可

令和8年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「聞くこと」調査等の具体的な実施モデル：時間割例

【実施モデル②：調査対象生徒を2グループに分けて実施（調査対象生徒の1/2分を保有している場合）】

- ※ パターン②-1、パターン②-2のいずれかで実施いただけます。
- ※ ヘッドセット交換や休憩の際に、既に実施した問題内容について、未実施の生徒に問題内容が伝わらないように十分に留意してください。
- ※ ○限目と△限目の間に昼休憩が入ることのないよう、午前又は午後にとまとめて実施いただきます。（D調査の結果を踏まえ、午前・午後の割り当てを行う予定です。）
- ※ 4月23日（調査実施日）の午前に実施する場合は、1・2限に国語・数学を実施するため、英語は3・4限目に実施いただきます。4月23日の実施を検討する場合は、ネットワークやヘッドセットの交換等、時間に余裕を持って調査を実施できる環境が整っているかを確認の上、決定いただくようお願いします。

【パターン②-1】

★グループA

	○限目（50分）			△限目（50分）	
準備等 （10分）	英語「聞くこと」・生徒質問調査 （50分程度）		休憩 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）	

※休憩前後でヘッドセットを交換

★グループB

	○限目（50分）			△限目（50分）	
準備等 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）		休憩 （10分）	英語「聞くこと」・生徒質問調査 （50分程度）	

又は

【パターン②-2】

★グループA

	○限目（50分）				△限目（50分）	
準備等 （10分）	英語「聞くこと」 （20分程度）	ヘッドセット 交換	生徒質問調査 （20分程度）	休憩 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）	

★グループB

	○限目（50分）				△限目（50分）	
準備等 （10分）	生徒質問調査 （20分程度）	ヘッドセット 交換	英語「聞くこと」 （20分程度）	休憩 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）	

 : ヘッドセット使用場面   : ヘッドセットの流れ

※ ○限目と△限目を逆にすることも可

令和8年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「聞くこと」調査等の具体的な実施モデル：時間割例

【実施モデル③：調査対象生徒を3グループに分けて実施（調査対象生徒の1/3分を保有している場合）】

- ※ 英語「聞くこと」及び生徒質問調査について、前半・後半に分けて実施してください。
- ※ 学校の状況や判断によって、グループCを更に2グループに分け、4グループで実施することも可能です。
- ※ ヘッドセット交換や休憩の際に、既に実施した問題内容について、未実施の生徒に問題内容が伝わらないように十分に留意してください。
- ※ ○限目と△限目の間に昼休憩が入ることのないよう、午前又は午後にまとめて実施いただきます。（D調査の結果を踏まえ、午前・午後の割り当てを行う予定です。）

★グループA

	○限目（50分）				△限目（50分）
準備等 （10分）	英語「聞くこと」 （20分程度）	ヘッドセット 交換	生徒質問調査 （20分程度）	休憩 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）



★グループB

	○限目（50分）				△限目（50分）
準備等 （10分）	生徒質問調査 （20分程度）	ヘッドセット 交換	英語「聞くこと」 （20分程度）	休憩 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）



★グループC

※休憩前後でヘッドセットを交換

	○限目（50分）		△限目（50分）
準備等 （10分）	英語「読むこと」「書くこと」 （50分程度）		休憩 （10分）
			英語「聞くこと」・生徒質問調査 （50分程度）



：ヘッドセット使用場面



：ヘッドセットの流れ

※ ○限目と△限目を逆にすることも可

令和8年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」調査の具体的な実施モデル：時間割例

<考え方>

- 前述の通り、各学校におけるヘッドセット保有数が1/3以上になるように配布します。それに加え、学校で保有するヘッドセットを追加で使用していただくことも可能です。
- 各学校のヘッドセット保有数や教室の確保状況によって、以下のいずれかで実施いただくこととなります。
 【実施モデル①】グループに分けずに実施（ヘッドセットを調査対象生徒全員分保有している場合）
 【実施モデル②】調査対象生徒を2グループに分けて実施（調査対象生徒の1/2分を保有している場合）
 【実施モデル③】調査対象生徒を3グループに分けて実施（調査対象生徒の1/3分を保有している場合）
- 「話すこと」調査は、所要時間20分程度であり、これに加えて教室移動等の時間が必要となります。（※）
- 既に実施した生徒から未実施の生徒に問題内容が伝わらないように十分に留意してください。
 特に【実施モデル③】においては、間の休憩の際に生徒が話さないよう注意してください。

（※）ネットワーク環境等の理由により、問題のダウンロード、録音音声のアップロードに時間を要する場合や、学校の構造により、教室移動に追加で時間を要する場合は、その時間を考慮して、時間割を検討ください。

<時間割例>

	○時限目(50分)				○時限目(50分)			
	前半		後半		前半		後半	
	調査内容	ヘッドセット	調査内容	ヘッドセット	調査内容	ヘッドセット	調査内容	ヘッドセット
グループA	英語「話すこと」	○	-					
グループB	【実施モデル①】		英語「話すこと」	○				
グループC			【実施モデル②】		英語「話すこと」	○		

【実施モデル③】